

## 平成29年度 第4回高知支部評議会 議事録

開催日時 平成 29年12月12日(火) 15時00分~17時00分

開催場所 高知会館4階 やまもも

出席評議員 被保険者代表・・・田平正博 島内 勉  
事業主代表・・・古谷純代 嘉数 実  
学識経験者・・・横川和博

### 議題

議題1 平成30年度保険料率について

議題2 平成30年度全国健康保険協会事業計画(案)について

議題3 平成29年度支部事業実施状況と平成30年度支部事業重点事項について

議題4 その他

### 議事概要

○事務局から各議題について資料に基づき説明を行う

(主な意見は次の通りです)

#### ◆議題1 平成30年度保険料率について

【評議員】 平均保険料率について、各支部の本音が出ているように感じました。

【事務局】 平成30年度の平均保険料率については、10%維持が14支部、引下げが14支部、両方の意見があるのが19支部と分かれています。  
保険料率維持と引下げ、どちらも各支部の事情があり難しい部分です。

【評議員】 住む場所でここまで保険料率が違う制度が、そもそもおかしいと思います。

【事務局】 制度の趣旨は、保険料率が高い支部が低い支部の事業を参考にして差を縮めるというものですが、現実的には差が開いています。

【評議員】 保険料率決定までのスケジュールを教えてください。

【事務局】 12月19日開催の本部運営委員会で議論をし、例年であれば、理事長が平均保険料率について一定の方向性を示します。

それを踏まえて、1月には支部保険料率も含めて情報が出ます。支部評議会ではそれをもとに議論を行い、評議会と支部長の意見をあげて1月末には協会けんぽとしての方向を決定、その後、厚生労働大臣の認可が下りれば2月はじめ頃に決定になります。

【事務局】 12月19日の運営委員会が最終決定ではないので、支部としても議論をして意見をあげます。

ただし、高知支部評議会での意見とは違う結論になることも考えられます。

◆議題2 平成30年度全国健康保険協会事業計画（案）について

【評議員】 ジェネリックカルテとはどのようなものですか。

【事務局】 県内の地域、医療機関、薬局別の使用割合や、処方箋の出し方、患者さんの選択状況など、ジェネリック医薬品の使用状況について諸々のデータが記載されています。

ジェネリック医薬品軽減通知などの加入者への周知ではなく、取組みの遅れている医療機関や薬局に具体的品目の使用を提案するための材料といえます。

【評議員】 大まかでも構わないので、評議会でも提示していただきたい。

【事務局】 次回の評議会でお示しします。

【評議員】 効果的なレセプト点検の推進とあるが、点検を外注してノウハウを取得するというのはどういうことですか。

【事務局】 高知支部の点検職員は、主に高知の病院のレセプトしか見れませんが、外注業者であれば各県のレセプトを確認できるため、支払基金支部の違いによる審査や請求の傾向を把握しています。

その辺りを協会けんぽも把握して、点検スキルを上げるというのが狙いです。

【評議員】 人事評価制度の適切な運用とはどういうことですか。

【事務局】 昨年10月から、新しい人事制度が始まりました。

昔の年功序列の人事制度から、業務量や達成度を評価して優秀な人材を育てる制度に変えて、協会けんぽ全体を良い方向に向かわせるということです。

そのために、被評価者の取組みの難易度、ウエイト、達成度などを数値化して適切な評価を行う制度であり、評価者も同じ基準で評価できるように研修をするという趣旨です。

【評議員】 健康企業宣言事業所数はどれくらいですか。

また、健康宣言をした県内の事業所は、何か変わりましたか。

【事務局】 11月末現在で133事業所に宣言していただきました。

現状、健康経営の取組は大企業が先行している状況です。中小零細企業は、今後の健康経営への取組みで差が出てきますので、引き続き健康経営の周知は行っていきます。

また、宣言して終わりではなく、毎年、従業員の健康についてできることを考えて、より健康につながる取組みとして欲しいと思います。

今後、中身のフォローアップを行っていきたいと思います。

◆議題3 平成29年度支部事業実施状況と平成30年度支部事業重点事項について

(特に質問なし)

◆議題4 その他

(次回開催について説明)

○ 特記事項 傍聴人なし

次回開催は1月を予定